

令和5年4月14日

沖縄県都市公園課 御中

沖縄県総合運動公園管理事務所
所長 福島 誠司

テニスコート改修工事について（お願い）

いつもお世話になりありがとうございます。

さて、沖縄県におかれましては、令和3年度SDGs未来都市に選定され、いろいろな取り組みをしていただいております。当公園もパートナーシップの選定をいただき、SDGsイベントや子供たちの公園内SDGs自然教室にも取り組んでおります。

その中で子供たちに産業廃棄物の種類によるCO₂の排出量などを教え、ビーチクリーンとともにごみの分別や海洋汚染、マイクロプラスチックの排出防止のための方策などを身近に感じてもらう機会も作っております。

その中で公園内から出るマイクロプラスチックにつきましては、現状の砂入り人工芝からの排出量が多く、人工芝の対応年数は7年から10年です。プラスチック素材入れ替えの場合、産業廃棄物として処分することになり、CO₂の排出もあります。また、現在、社会問題になっているマイクロプラスチックが砂入り人工芝の場合、利用されればされるほど削られ生み出されます。その為、現在は泡瀬干潟への流出を削減するため、テニスコート内にも壁際にも砂を多く入れ、雨でppが浮き上がるのを砂でろ過して排水する工夫をしております。SDGsの努力目標の11番12番をご考慮の上、テニスコート面の選定をしていただきますようお願いいたします。

以下の指標が産業廃棄物の主なCO₂の排出量の子供たちに教えている基準です。





すべての人が水・電気などの必要なサービスを得られる安全な家に住み、スラムの状況を改善すること、また特に子どもや女性、障害者、高齢者など配慮が必要な人々にとって、安全で価格が安く、かつ環境に配慮した交通機関や公園などの公共スペースをつくることを目指す目標です。

さらに住民のまちづくりへの参加を確保すること、災害に強いまちや地域をつくること、大気汚染を防ぎ廃棄物を管理して都市の環境を改善すること、世界文化遺産・自然遺産を守ることもこの目標に含まれます。



これまでの生産と消費の形態への反省から、すべての国が、一人当たりの食品廃棄量を全体で半分に減らすこと、化学物質や廃棄物を大気・水・土壌に流れ出すことを食い止めること、3R（ゴミを減らし、再利用し、資源化すること）を促進することを目指す目標です。

持続可能な消費と生産を行うためには、大企業や多国籍企業が持続可能な方法で事業を実施し情報を公開すること、国や自治体が環境に優しい物品やサービスを使用すること、そして人々が自然と調和した暮らしに関する知識を得られるようにすることなども必要で、それらも目標として掲げています。